

長佐古杯

第43回ジュニアチャンピオン大会 Bulletin3(プログラム)

期日 2026年4月19日(日) 雨天決行・荒天中止
場所 東京都青梅市・埼玉県飯能市
会場 青梅市今井市民センター体育館



主催 多摩オリエンテーリングクラブ
後援 青梅市教育委員会・東京都オリエンテーリング協会
協賛 OLG奥武蔵野 (小笠原揚太郎氏)
O-Ajari (田島利佳氏)
O-Support (小泉成行氏)
KATANA Adventure (中田博喜氏)
協力 青梅レクリエーション研究会

大会ホームページ <http://www.orienteeering.com/~tama/jc/jc43/index.html>

タイムテーブル

8:30 駐車場オープン
9:00 会場オープン・受付開始
10:00 スタート開始
12:30 スタート閉鎖
12:15 新歓クラススタート開始
13:45 新歓クラススタート閉鎖
13:30頃 表彰式
15:00 フィニッシュ閉鎖
16:00 会場閉鎖
16:30 駐車場閉鎖

目次

ご挨拶	p.2
交通案内	p.2
会場案内	p.6
競技に関する情報	p.7
競技の流れ	p.13
緊急対応事項	p.16
歴代チャンピオン一覧	p.17
長佐古杯について	p.18
競技に関する一般的な注意事項	p.18

ご挨拶

大会実行委員長 平木 達也

ジュニアチャンピオン大会に参加申いただき誠にありがとうございます。昨年の前回大会は「七国峠」リメイク第1弾ということもあって史上最多の586名（新歓を合わせると675名）の方に参加いただきました。今年はリメイクプロジェクト第2弾として、前回未使用・未公開であった青梅側の範囲を中心にコースを設定しています。青梅側は東京都デジタルツイン実現プロジェクト点群データにより、より高精度の原図を用い、また前回に引き続きプロマッパーの宮西優太郎氏による調査作図で生まれ変わっております。是非お楽しみいただけますと幸いです。

昨年の全日本大会や近年のクマ被害を契機としてオリエンテーリングの安全対策が見直されています。七国峠は遭難リスクの少ない里山トレインではありますが、急斜面での怪我のリスクに加えて昨秋はクマの目撃情報が出ており、十分な注意が必要です。そこで今大会では任意で携帯電話の携行やNaviTabiアプリによるトラッキングができるように致します。建設業などの言葉ですが、「ご安全に！」と皆様の無事でのフィニッシュをお待ちしています。皆様におかれましても競技時間の順守、無理をしない、周りの初心者への指導などのご協力をどうぞお願いします。

今回も地元（青梅市・立正佼成会・今井市民センター・今井自治会・薬王寺）の皆様や協賛の皆様の多大なるご理解・ご協力をいただいております。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

交通案内

バス利用の場合

西武池袋線「入間市」駅またはJR青梅線「河辺」駅北口から西武バス：「今井市民センター前」下車すぐ。
JR青梅線「河辺」駅北口または「小作」駅東口から西東京バス：「七日市場」下車徒歩600m（7分）。
JR青梅線「小作」駅東口から西東京バス：「三ツ原工業会館」下車徒歩1.5km（21分）。

バス往路時刻表

乗車バス停	入間市駅	河辺駅北口		小作駅東口	
行先	河辺駅北口	入間市駅	小作駅東口	河辺駅北口	三ツ原循環西廻り
バス会社	西武バス		西東京バス		
降車バス停	今井市民センター前		七日市場		三ツ原工業会館
所要/運賃	23分/330円	11分/180円	17分/340円	13分/250円	11分/250円
8時	46	43	00 30	26	07 27 47
9時		36	00 40	06 50	07 27 47
10時	00	58	40	26	07 27 47
11時	08		13	39	07 27 47

バス復路時刻表

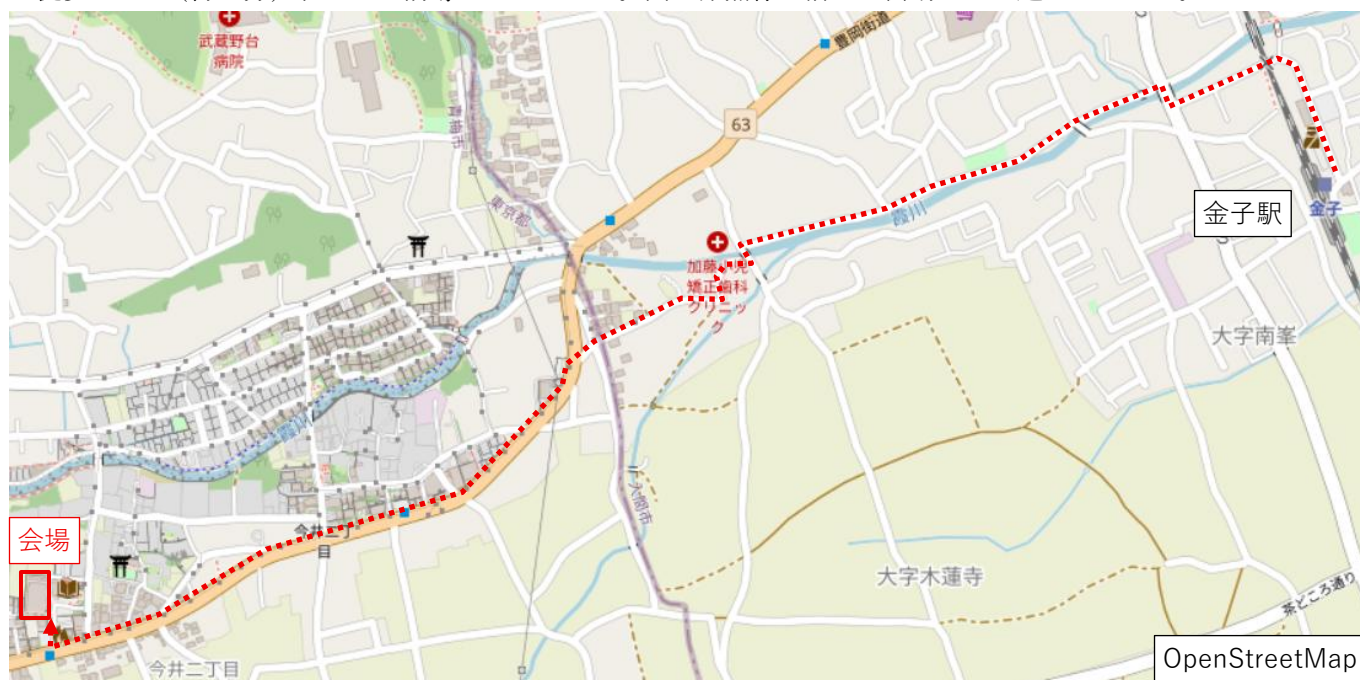
乗車バス停	今井市民センター前		七日市場	
行先	入間市駅	河辺駅北口	小作駅東口	河辺駅北口
バス会社	西武バス		西東京バス	
所要/運賃	29分/330円	16分/180円	19分/250円	23分/340円
13時	10	23	27	49
14時		38	27	49
15時	22	43	27	49
16時	32	48	27	31

バス停～会場 地図



JR金子駅から徒歩の場合

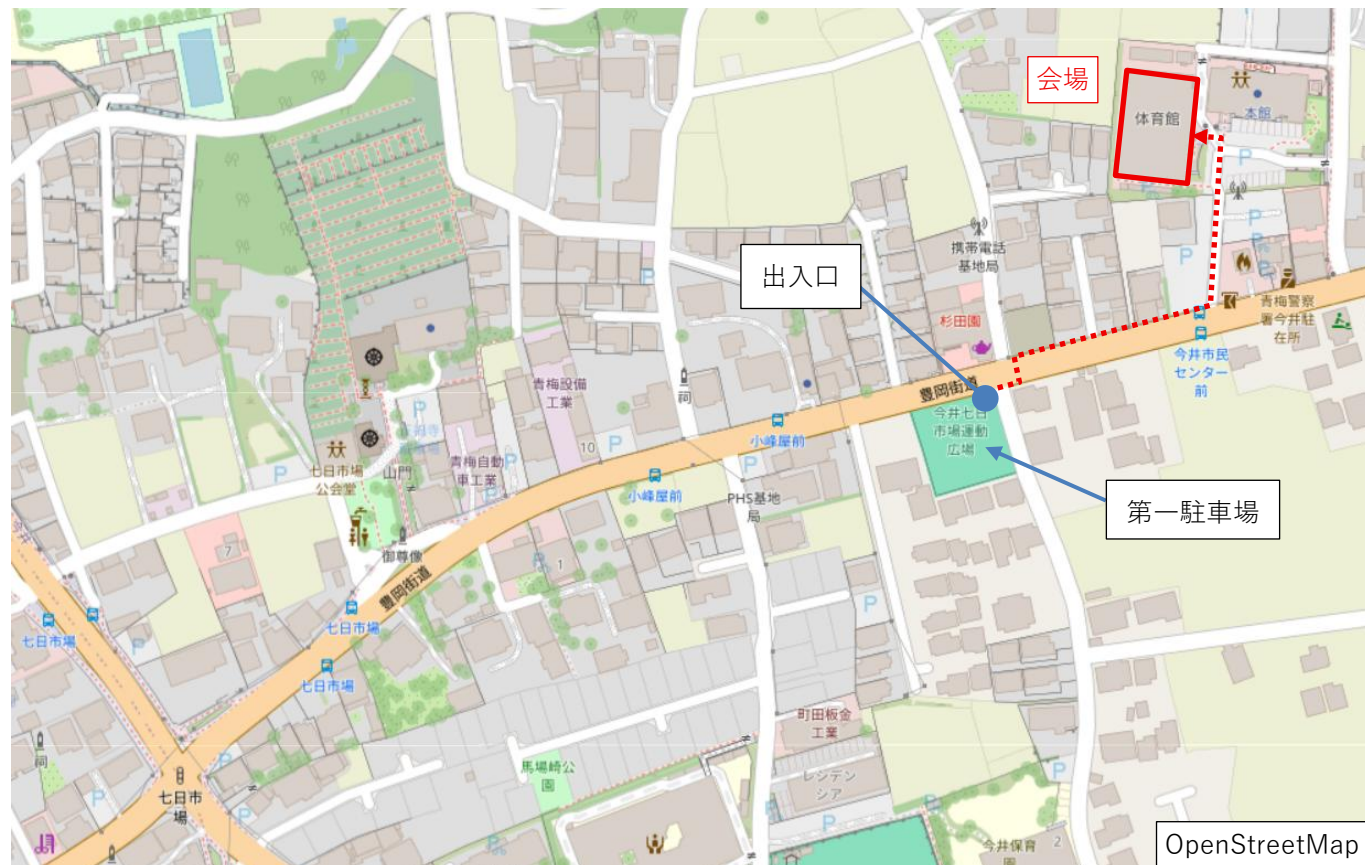
徒歩2.0km（約30分）、テープ誘導はありません。図の赤点線に沿って会場までお越しください。



自家用車の場合

- 駐車券を先着順で申し込まれた方のみ駐車場の利用が可能です。駐車券を申し込めなかった方は、公共交通機関の利用または小作駅・河辺駅など周辺の有料駐車場の利用をご検討ください。
- 駐車場は、第一駐車場と第二駐車場に分かれています。割り振りのリストと駐車券を大会ホームページおよびJapan-O-entrYに掲載していますので、確認の上、駐車券をプリントアウトし、ダッシュボードに必ず掲示してください。
- 第一駐車場は今井七日市場運動広場を使わせていただいています。8:30からオープンします。会場までは150m 徒歩2分です。テープ誘導はありません。次ページの図の赤点線に沿って会場までお越しください。
- 第二駐車場は立正佼成会青梅練成道場内の駐車場を使わせていただいています。8:30からオープンします。会場までは2.1km徒歩約30分です。テープ誘導はありません。次ページの図の赤点線に沿って会場までお越しください。
- 両駐車場ともにオープン前に車道や入口で待機することはできません。ご協力をお願いします。
- 両駐車場ともに16:30には完全撤収をお願いします。
- 今井市民センターの駐車場は利用できません。ただし、駐車場に進入し、駐車せずに同乗者を乗降させるのは認めます。周囲に迷惑をかけないよう十分な配慮をお願いします。

第一駐車場～会場 地図



第二駐車場～会場 地図



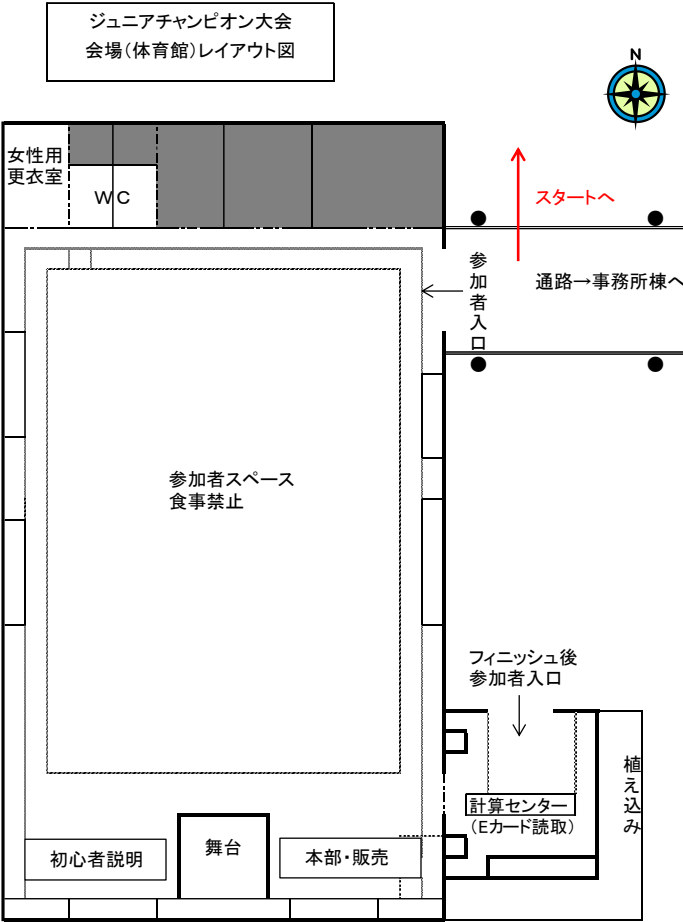
自転車、オートバイ利用の場合

今井市民センター敷地内の駐輪場に駐輪してください（次ページの今井市民センター全体図参照）。

会場案内

会場レイアウト

- 体育館内では食事ができません。食事は屋外でお願いします。**
- トイレは体育館内の他に事務所棟内1階と2階のトイレも利用可能です。
- 事務所棟は競技用シューズでの入館禁止**です。汚れたシューズ/靴下で館内を汚さないよう配慮ください。
- 会場に公式掲示板が設けてあります。重要な競技情報、プログラム発行後の変更事項など大切な情報を随時掲示しますのでスタート前に必ずご覧ください。
- 市民センター内での営利目的の販売行為は禁止です。
- 体育館、事務所棟、駐車場、テレイン～会場間の往復、テレイン内すべて禁煙です。
- コンビニは、七日市場交差点から岩蔵街道を北西に520m行くと、ファミリーマートがあります。
- ごみは各自自宅までお持ち帰りください。地域のごみ箱や駅など途中での投棄は絶対にしないようにしてください。体育館を退去する際はご自分の周囲のごみを片付け、きれいにして帰りましょう。



受 付 (事前申込者)

- 受付後、本部横の配布所にて、ナンバーカード、バックアップラベル、E-カード（レンタルの場合）、誘導地図などの入った袋をご自身でピックアップしてください。クラス別、出走時刻順に箱に入れてあります。
- 申込に不備のあった方には「お知らせ」の紙を入れてあります。「お知らせ」を持参の上、本部までお越しください。
- 配布所では、ご自身のものだけをお持ちください。残った袋を欠席確認に使うことがありますので、欠席者の袋は持って行かないようにお願いします。
- E-カードには必ず配布した**未使用**のバックアップラベルを付けてください。
- ご自分のE-カードを忘れた場合、E-カードに不具合があった場合は、ナンバーカードを持参のうえ本部へお越しください。

してください。E-カードレンタル料400円が必要です。

- レンタルE-カードを紛失・破損した場合は実費を頂きます。高価なものですので、**紛失しないようにご注意ください**。簡便なE-カード紛失防止器具を用意しており、希望者には無償で貸し出します。本部までお越しください。
- 若干の貸出用コンパスを用意します。競技終了後本部に返却してください。保証金は不要ですが、紛失・破損した場合は弁償金として3,000円を頂きます。
- 本大会では代走はできません。無断代走は厳禁とします。

新歓用クラス申込者の受付

- 本部で代表者が参加費をお支払いください。E-カード（レンタルの場合）とナンバーカード、メンバー表（提出用）、誘導地図をお渡しします。
- 受付は、11時までをお願いします。

直前申込クラス・市民クラス（当日）申込者の受付

- 本部で参加費をお支払いください。E-カード、ナンバーカードなどをお渡しします。参加費は市民(CN)クラス1,000円、OA・OBクラス4,500円、ONクラス2,300円です。E-カードをレンタルする場合、+400円を頂きます。
- 直前申込クラスの参加には、**事前予約**が必要です。
事前予約方法：tamajc@googlegroups.com 宛にメールで下記の情報をお送りください。
希望クラス・氏名・ふりがな・性別・年齢・生年月日・所属クラブ・住所・連絡先電話番号・
E-カードレンタルの有無（マイカードの場合はカード番号）
受付けましたら当方より確認メールを返信いたします。
4月15日（水）21時必着でお送りください。

初心者説明

- 会場内にオリエンテーリングがはじめてまたは経験が浅い方を対象とした初心者説明コーナーを設けます。地図や競技方法の説明を致しますので、コンパスとE-カードを持参の上お越しください。

競技に関する情報

競技形式

- 個人のポイントオリエンテーリング（ミドル～ロングディスタンス競技）
- 日本オリエンテーリング協会の定める「日本オリエンテーリング競技規則」に準拠
- 計時方式は全クラス、E M I T社の電子パンチングシステム（E-カード）を使用

地 図

- 使用地図 「七国峠2026」
東京都側：東京都デジタルツイン実現プロジェクト多摩地域点群データ
埼玉県側：国土地理院基盤地図情報を利用
調査作図：宮西山野精図、多摩オリエンテーリングクラブ
調査期間：2023年11月～2026年3月
- 縮尺 1:10,000または1:7,500 コース情報一覧をご参照ください。
- 等高線間隔 5m
- 国際オリエンテーリング地図図式（ISOM2017-2）に準拠

● 特殊な地図の記号

ISOM2017-2 準拠	
×	ほこら/石碑/看板 Small Shrine/Stone Monument/Signboard
+	墓・墓地（立入禁止） Grave/Graveyard (out of bounds)
.....	植生界・樹列 Distinct vegetation boundary/Tree row

- 地図サイズ：B4横、ビニール袋封入済み（ポリエチレン製 0.08mm厚）
- 会場内に11:00まで旧マップを掲示します。会場内に過去の「七国峠」の地図を持ち込むことを禁止します。
- コース表記の都合上、一部のコースで給水マークを通常の80パーセントに縮小して印刷しています。

コントロール位置説明

- ISCD 2018（<https://www.orienteering.or.jp/archive/rule/ISCD2018-J.pdf>）に準拠。ただし、すべてのN（初心者）クラス、M10/W10クラスは日本語を併記してあります。
- コントロール位置説明表はスタート地区で配布します。最大寸法は、62mm×170mmです。コントロール位置説明は地図上にも印刷されています。

最大競技時間

- 競技者の安全のため、競技時間は最大で150分（2時間半）とします。150分を超えた場合失格となります。失格者の順位は成績表に表示されません。
- スタート後150分以内にフィニッシュを通過できるよう、タイムオーバーが予想される場合は競技の途中であっても速やかにフィニッシュに向かってください。
- 新歓クラスの競技時間は75分です。



**アドベンチャーレーサーが創る、
藪漕ぎ用ゲイター、レガースと
0フラッグアクセサリのお店**

KATANA
Adventure



キーホルダー等に
クラブ名や大会名を
入れることも可能です。
学割、数量割引有り。



オリジナルサムリストコンパス



KanPasコンパス



Ski-Oマップ台

本気で藪を漕ぐアスリートたちを応援しています。
勝つために藪漕ぎを快適に。日常にフラッグのときめきを。

カタナアドベンチャー 🔍

コース情報一覧

男子	距離(km)	登距離(m)	優勝設定 (分)	縮尺	女子	距離(km)	登距離(m)	優勝設定 (分)	縮尺
JME	4.0	280	45	1:10,000	JWE	2.9	170	40	1:10,000
M18	2.9	160	40	1:10,000	W18	2.4	100	40	1:10,000
M18N	2.9	85	30	1:10,000	W18N	2.9	85	30	1:10,000
M15	2.9	125	35	1:10,000	W15	2.9	125	40	1:10,000
M15N	2.9	85	30	1:10,000	W15N	2.9	85	30	1:10,000
M12	2.9	80	35	1:10,000	W12	2.9	80	35	1:10,000
					W10	2.9	85	30	1:10,000
M21A1	5.8	350	50	1:10,000	W21A	4.1	285	45	1:10,000
M21A2	5.8	360	50	1:10,000					
M21AS	4.1	285	45	1:10,000	W21AS	3.0	255	45	1:10,000
M35A	4.1	285	45	1:10,000	W35A	3.0	255	45	1:10,000
M50A	3.0	255	40	1:10,000	W50A	2.7	200	45	1:7,500
M65A	2.7	200	40	1:7,500	W65A	2.6	150	35	1:7,500
M75A	2.6	150	35	1:7,500	W75A	2.6	150	45	1:7,500
M85A	1.7	100	35	1:7,500					
MB	2.9	125	35	1:10,000	WB	2.9	125	40	1:10,000
MN	2.9	85	30	1:10,000	WN	2.9	85	30	1:10,000
GN	2.9	85	30	1:10,000					
OA	4.1	285	45	1:10,000	難易度:上級				
OB	2.9	125	35	1:10,000	難易度:中級				
ON	2.9	85	30	1:10,000	難易度:初級				
CN	2.9	85	30	1:10,000	難易度:初級、対象:青梅市・飯能市民				

- ・ M21Aクラスは申込多数により分割しました。
- ・ 優勝設定時間など競技に関する情報が変更になる場合、当日公式掲示板で告知します。

給水

- スタート地区に給水所を設けます。トレイン内には給水所を3か所設けますが、すべてのクラスのルート上で給水所を通過するとは限らず、クラスによって地図に表示される給水所の箇所数は異なります。暑さも予想されますので、十分給水してからスタートに向かってください。

競技規則逸脱事項

- スタート間隔 ロングのEクラスは最小で2分と規定されていますが異なるクラスもあります。

服装・シューズに関する注意

- 今大会はナンバーカードを使用します（胸に1枚）。4本の安全ピンでしっかりと胸に固定してください。1本や2本のピンでの取り付けはご遠慮ください。また一番外側の競技用ウェアに装着し、競技中はいつでも外からよく見えるようにしてください。各自で安全ピンを4本以上ご準備ください。忘れた方は会場内本部脇に予備がありますので各自でお持ちください。
- 服装について特に制約はありませんが、肌の露出しない長袖長ズボン、濡れても冷えない合成繊維のシャツなど

を推奨します。

- 金属ピンの付いた靴の使用は差し支えありません。

装備に関する注意

携行を強く推奨

携行を推奨

コンパス

ホイッスル

熊鈴

携帯電話、GPS機器（競技中の使用は失格）
（NaviTabiによる運営者への現在地共有を推奨）

- コンパスを持たずに出走することは危険です。忘れた場合は受付で貸し出しを行っています。
- ホイッスルの携行を強く推奨します。遭難時はホイッスルを1分間に6回（10秒に1回）のリズムで鳴らします。その後、1分休みます。これを繰り返します。
- 熊鈴の携行を推奨します。昨秋、トレイン内でクマが目撃されています。その他シカ、イノシシ、ニホンカモシカ、サルと遭遇する可能性があるため、音を出すことが遭遇回避になる場合があります。
- 競技中、携帯電話・GPS機器の通信やナビゲーションでの使用は認めませんが、非常時のために携行を推奨します。もし、使用した場合は失格処理をするため計センで申告してください。また、本大会ではNaviTabiアプリによる安全管理システム（次項に詳述）を導入します。
- 携帯電話など装備を山中に落とさないよう、ポーチ、トレランリュックなどに入れて携行してください。万一競技中に無くした場合も、競技時間内にフィニッシュしてください。搜索のために再入山したい場合は、本部にご相談ください。

NaviTabiアプリによる安全管理システム

本大会ではNaviTabiアプリによる安全管理システムを導入します。NaviTabiアプリを設定したスマートフォンを携行することで、運営者への現在地共有が行われるため、遭難時の搜索に役立ちます。また、SOSボタンにより運営者に救護を依頼することもできます。詳しくは下記サイト、参加者向けクイックガイドを参照ください。なお、システムの利用は任意ですが、高齢者や初心者、不安な方は積極的にご利用ください。不明な点があれば、会場で本部に問合せください。スタートではご質問の対応ができません。

https://navitabi.co.jp/sp-apps/20260321_safety-tracking/

参加者側での操作を以下に示します。

1. 事前にNaviTabiアプリをインストール、ログインしておく。
2. 当日会場でアプリを開くと、本大会イベント「ジュニアチャンピオン大会」が自動表示
3. ゼッケン番号を入力し、ワンタップで現在地共有を開始
4. 競技中はアプリの操作不要（バックグラウンドで位置情報を送信）
5. 緊急時はSOSボタンを長押しして運営者に通知
6. 競技終了後に共有を停止

トレインおよびコースプロフィール

東京近郊では数少ない本格的な里山トレインで、東西に伸びる大きな尾根・沢は、枝尾根・沢が複雑に入り組んでおり、尾根線・沢線には小道が多く発達しています。急峻な斜面は滑りやすく、雨天時には特に注意が必要です。

コースは、E・Aクラスにおいては、スピードを出せるラフな区間と細かい地図読みを必要とするファインな区間が存在します。また登坂力も要求されます。それ以外のクラスにおいても基本的な手続きを怠るとすぐに現在地が分からなくなる為、油断はできないコースとなっています。

- トレイン内の太陽光発電施設およびその柵の縁、隣接する造成地、サッカーグラウンドは通行・立入禁止です。なお、地図で「開けた土地」（オレンジ）表記の道は通行できます。



●テレイン内のその他の立入禁止の看板や柵

テレイン内には、車両の通行禁止やゴミ投棄防止のために「立入禁止」の看板や柵が設置されている場所がありますが、競技者は通行できます。看板や柵をよけて通行してください。※地図には柵などは表示されていません。



●一部のコースのルート上、朽ちて通行が危険と思われる橋があります。当日、現地に青黄テープで明示しますので、渡らないでください。



競技上の注意事項

- 途中で棄権する場合も、必ずE-カードをなんらかの方法でフィニッシュまたは本部へ提出してください。絶対に無断で帰宅しないでください。無断で帰宅すると行方不明者として捜索の対象となります。
- テレイン内に他人のE-カードが落ちていても拾わないで、目立つようにしておいてください。
- 救護が必要な場合は会場で対応します。
- テレイン内には立入禁止のエリアがあります。地図上ではパープルのクロスハッチで表記してあります。現地は

テープで囲まれていません。立入禁止区域には立ち入らないでください。民家の敷地、耕作地も立入禁止です。立ち入りが判明した競技者は失格とします。

- テレイン内には一般のハイカーやマウンテンバイクの愛好家がいらっしゃいます。接触には十分気を付けてください。
- テレイン内には黒黄色ロープ（トラロープ）が張ってある箇所がありますが、これはオートバイなどの進入防止の為に、本大会の参加者の通行（通過）を妨げるものではありません。
- 会場からスタートへの往路、フィニッシュからの帰路に、交通量の多い道路を通行します。歩道がある場所では必ず歩道を通行し、車両に十分注意してください。住宅街では、道幅が狭いので、横に広がらないようにしてください。
- 傷病者の救助はすべてに優先されます。
- スタート地区でのウインドブレーカーなどの輸送サービスはありません。
- 何らかのトラブルがあった場合は速やかに巡回中の役員、スタート・フィニッシュ・会場などの役員にお知らせください。

テレインの安全回路

現在地が分からなくなってしまったときは、下図を参考におおまかなエリアに応じて脱出する方角を定め、山を下って市街地に脱出してください。

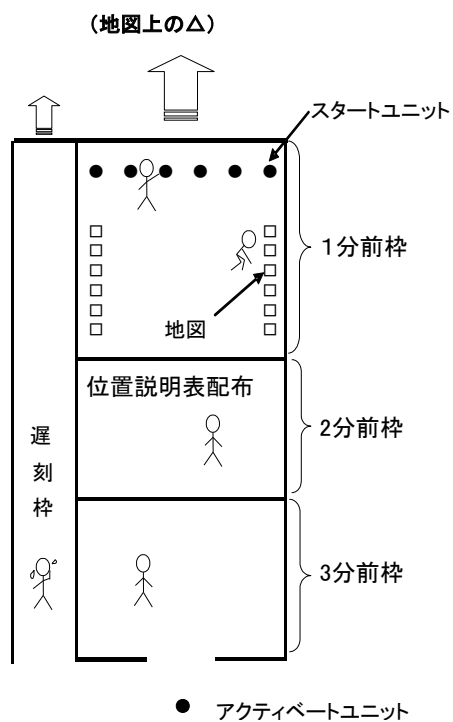


競技の流れ

スタートへ

- ナンバーカードの装着、E-カード、コンパス、時計を忘れずに。
- 会場から出るところで、ナンバーカード装着、E-カードの動作チェックを行います。
- 会場からスタート地区までは、途中までは配布地図による誘導、その先は黄色テープにより誘導します。所要時間は約20分（約1.1キロ）です。車の通る道路を通行します。安全に十分注意してください。
- スタート地区にウォーミングアップができる場所はありません。スタート地区までの間で車に注意して行ってください。
- スタート地区の近くに給水所を設けます。

スタートフラッグへ



スタート地区

- スタート枠に入る前に、アクティベートユニットに E-カードをセットし、ユニットのランプが点滅することを確認してください。万一ランプが点滅しない場合、点滅が弱い場合、点灯のままの場合など異常が感じられるときは速やかに役員に申し出てください。予備のE-カードをお渡しします。
- 時刻表示が自分のスタート時刻の3分前（時計は実際の時刻を表示しています）になりましたらスタートゲートに進み、役員にE-カードを提示してチェックを受けてからゲートに入ってください。名前の呼出しはしません。
- 次のブザーで1つ前の2分前枠に進んでください。ここで希望者は各自で位置説明表をお取りください。地図に位置説明は印刷されています
- 次のブザーでさらに1つ前の1分前枠に進み、自分のクラスの地図を1枚取ってください。他のクラスの地図を取ると失格になるので十分注意してください。この時点ではまだ地図は見ないでください。スタート枠最前列のスタートユニットの前に進んでください。どのスタートユニットを使用しても構いません。

スタート

- スタート10秒前のブザーで、E-カードをスタートユニットにはめてください。
- スタートのブザーと同時にE-カードをユニットから離し、スタート！
- E-カードをユニットから離すと同時に計時が始まります（リフトアップスタート方式）。
- スタート後、地図上の△までは赤白の誘導テープに従ってください。誘導テープの終りにあるフラッグが地図上の△です。
- スタート時刻に遅れた競技者は、遅刻枠の役員に申し出て、その指示に従ってください。タイムは正規のスタート指定時刻より計測し、正規タイムとして扱います。
- スタート閉鎖は12:30とし、閉鎖後のスタートは認めません。12:30以降は新歓クラスのスタートを開始します。

- デフアスリート向けに写真のようなスタートのタイミングを光で知らせるスタートチャイマーを設置します。



競 技

- コントロールに到着したらコントロール番号を確認の上、E-カードをユニットにセットしてください。
- 間違ったコントロールにセットした場合はそのまま次に正しいコントロールにセットすればOKです。
- 機材の不調で電子的なデータを取得できない場合は、バックアップラベルで完走判定をします。
- バックアップラベルを紛失しても失格にはなりません、上記の判定が不可能なため失格になる場合があります。

フィニッシュおよびE-カードの読取り

- 最終コントロールからフィニッシュまでは赤白色の誘導テープに従ってください。
- パンチングフィニッシュです。フィニッシュでユニットにE-カードをセットした時刻がフィニッシュ時刻となります。フィニッシュにある複数のユニットのどれにセットしてもOKです。
- 競技中にE-カードを紛失した場合には、フィニッシュの役員に申し出てください。
- フィニッシュは15:00に閉鎖し、以後の計時は行いません。同時にコントロールフラッグの撤収を開始します。すべての競技者は15:00までにフィニッシュを通過してください。競技途中の競技者も15:00のフィニッシュ閉鎖に間に合わないと判断した場合は直ちに競技を中止しフィニッシュに向かってください。
- フィニッシュの近くに給水所を設けます。
- フィニッシュでは地図の回収を行いません。フィニッシュから会場までは、地図を参照して移動してください。会場までの距離は約1.6kmです。会場までの道および会場では地図を内側に折り、未出走者の目に触れないよう配慮をお願いします。
- E-カードの読取りは**会場内に設けた読取所**で行います。読取所を通らずに帰宅すると行方不明者扱いになりますので不通過は厳禁です。万が一、棄権してフィニッシュを通過しなかった場合は速やかに本部にその旨を申告してください。
- レンタルE-カードは読取所で回収します。なお、計時トラブルがあった場合、個人所有のE-カードを一時お預かりすることがあります。この場合、E-カードは会場の本部でお返しします。
- 新歓クラスに参加する上級生は、**必ず会場に戻ってEカードを読み取ってから**、またスタートに向かってください。
- すべてのクレームは本部備え付けの専用紙でのみ受け付けます。回答は公式掲示板に掲示します。

調査依頼と提訴

- 競技に関して疑義が生じたときの調査依頼は本部備え付けの所定の用紙で本部に提出してください。
- 調査依頼に対する回答が不服の場合、提訴することができます。回答が出されてから原則15分以内に本部備え付けの用紙で提出してください。

裁定委員

- 大会会場の公式掲示板に表示します。

成 績

- 会場での速報掲示は行いません。「Lap Center」でご確認ください。会場にQRコードを掲示します。

<https://mulka2.com/lapcenter/index.jsp>

●成績表、ラップ解析結果は大会ホームページで公開します。

本大会では成績処理のアプリケーションに的場洋輔氏作成のMulka 2を使用しています。

詳しくは、<http://www2s.biglobe.ne.jp/~matoba/public/olk/index.htm>

表 彰

13:30頃からJMEは10位まで、その他のジュニアクラスは3位まで表彰いたします。参加者全員で栄誉を称えましょう。一般クラスおよび新歓クラスの表彰は行いませんが、一般クラスの上位3位まで本部にて賞品をお渡しします。JME、JWEの優勝者には長佐古杯が授与されます。

販売地図・欠席者地図

申込時にご注文いただいた方のみ、13時頃から本部受付にてお渡しします。当日の販売は行いません。

欠席者地図のお渡しは13時頃の開始を予定しています。同じクラブの方、引き取りをお願いします（当日限り）。

写真撮影について

主催者が、競技中も撮影をいたします。あらかじめご承知の上、ご参加ください。これらの写真・映像を、報告書や今後の広報活動に使用場合があります。



Go for it!!

TRIMTEXサポートアスリート

伊藤樹選手

オリエンテーリング

アジアチャンピオン2024

(ミドルディスタンス)

全日本チャンピオン2024

(ロングディスタンス)

TRIMTEX



O-Ajari
går på tur

www.o-jari.com

緊急対応事項

●大会中止について 荒天などにより、参加者の安全を確保できないと判断した場合、大会を中止します。

この場合、参加費の返金はいきませんのでご了承ください。

大会を中止する場合は、多摩オリエンテーリングクラブのホームページ <http://www.orienteering.com/~tama> で午前6時頃までにご案内します。

●けがなどの責任・処置 参加者の不注意または故意によって生じたケガ、または第三者に与えた損害は参加者の責任となりますので、十分注意して行動されるようお願いいたします。健康保険証をご持参ください。主催者は会場で応急処置をいたしますが、それ以上の処置はできません。主催者側でスポーツ傷害保険に加入しています。

●体調不良時の棄権 体調が思わしくないときの出走はやめましょう。具合が悪くなった場合はレースの途中でやめる勇気をもってください。

●問合せ先 E-mail : tamajc@googlegroups.com 可能な限りE-mailをご利用ください。

電話(前日当日): 080-6615-1878(平木)まで。応答できない場合もありますのでご了承ください。

大会役員

大会会長 宇野 浩一(多摩オリエンテーリングクラブ会長)

実行委員長、渉外、広報 平木 達也

競技責任者 三野 隆志

コースプランナー 菊澤 恵三

イベントアドバイザー 高村 卓

地図調整 浅沼 英博 宇野 浩一

地図修正調査 宇野 浩一 山田 一善

運営役員(上記以外) 荒井正敏 市川 幸次 宇野明子 梅林正治 大町宏志 加藤昭次 菊澤恵三

児玉 拓 鈴木清美 鈴木恒久 鈴木規弘 鈴木博実 平雅夫 高橋 厚 松山雅彦

三宅 互 Vetter Joerg Tachiana Savchenko

小野賢二(東京都協会) 高村陽子 山下大樹(上尾OLC) 仁多見剛(埼玉県協会) 井村真岳(杏友会)

orienteering Shoes New Lineup 2026SS barku

VELOX

あらゆるトレイルでアスリートに自信を与えるために設計された、オールラウンドオリエンテーリングシューズ。軽量でアグレッシブ、そして精密なVeloxは、トレーニングと競技の両方において、優れたグリップ力、確実なフィット感、そして耐久性を提供します。

NITRIX x STD

妥協を許さないオリエンテーリングアスリートのためのシューズ。わずか220グラム※という軽さは、BARKU 史上最軽量・最速のメタルスタッドレーシングシューズです。NITRIXは過酷な地形でも純粋なスピードを発揮できるよう設計されています。 ※UK8サイズ

RAVEN x STD x CARBON

大好評のワイドフィットのピン付きシューズRAVENにカーボンプレート入りモデルが追加されました。幅広いシューズがフィットし、俊敏性とパフォーマンスに優れたシューズを求める方に最適。

0-Support

Web Shop

にて好評発売中



第43回ジュニアチャンピオン大会の成功と
ジュニア選手のさらなる飛躍を祈念しております。



歴代ジュニアチャンピオン一覧

大会	開催日	地図名	JME優勝者		JWE優勝者	
第1回	1978. 4. 2	美根	村越 真	(トータス)	長田 由紀	(東京OL)
第2回	1980. 4. 2	物見塚	宮川 達哉	(早大学院)	松井 忍	(江北高)
第3回	1983. 4. 24	狭山嶺	井上 浩之	(浦和高)	佐藤 恵美	(水戸OL)
第4回	1986. 9. 28	塩船観音	大江 桜麻	(桐朋高)	田島 利佳	(南高麗中)
第5回	1987. 10. 11	青梅坂	鹿島田 浩二	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第6回	1988. 10. 2	塩船観音	永田 芳樹	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第7回	1989. 10. 1	滝山城趾	一瀬 建日	(麻布学園)	志村 聡子	(川和高)
第8回	1991. 1. 20	霞丘陵	諏訪 高典	(麻布学園)	中込 裕子	(国分寺高)
第9回	1992. 1. 19	狭山嶺Ⅱ	加藤 裕	(東農大三高)	金木 愛加	(梅田OLC)
第10回	1993. 1. 17	滝山城趾Ⅱ	石澤 俊崇	(早稲田実業)	酒井 さつき	(オオムラサキ)
第11回	1994. 1. 23	草花丘陵	榎本 和弘	(麻布学園)	酒井 さつき	(練馬区)
第12回	1995. 1. 03	小金井公園	稲田 丈朗	(麻布学園)	石川 綾	(桃山高校)
第13回	1996. 1. 21	七国峠	稲田 丈朗	(麻布学園)	高橋 ひとみ	(東京高専)
第14回	1997. 1. 19	狭山嶺ver4	玉置 俊光	(桐朋学園)	達富 睦	(亀岡OC)
第15回	1998. 1. 18	草花丘陵	積雪により中止			
第16回	1999. 1. 24	滝山城趾	纓坂 尚	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(新宿高校陸上部)
第17回	2000. 1. 23	今井城趾	山田 高志	(桐朋学園)	参加者なし	
第18回	2001. 1. 21	今井城址	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(小平OLK)
第19回	2002. 1. 20	平井	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 久美	(実践学園高)
第20回	2003. 1. 19	今井城址	柴本 浩児	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第21回	2004. 1. 18	滝山城址	斉藤 翔太	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第22回	2005. 1. 23	平井2005	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第23回	2006. 1. 22	滝山城址2006	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第24回	2007. 1. 21	日和田山2007	宇野 夏樹	(武相OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第25回	2008. 1. 20	七国峠2008	山崎 純	(桐朋IK)	藤田 雲母	(岐阜OLC)
第26回	2009. 1. 18	滝山城址2009	尾崎 弘和	(麻布学園OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第27回	2010. 1. 24	七国峠2010	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第28回	2011. 1. 23	平井2011	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第29回	2012. 1. 22	七国峠 2012	角田 貴大	(東海高校)	参加者なし	
第30回	2013. 1. 20	滝山城址 2013	角田 貴大	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第31回	2014. 1. 19	七国峠2014	稲森 剛	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第32回	2015. 1. 18	平井2015	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第33回	2016. 1. 24	滝山城址2016	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第34回	2017. 1. 22	七国峠2017	折橋 旺	(麻布学園)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第35回	2018. 1. 21	平井2018	森清 星也	(東海高校)	吉田 菜々子	(都立戸山高校)
第36回	2019. 1. 20	七国峠2019	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	落合 英那	(OLCルーパー)
第37回	2020. 2. 2	滝山城址	福室 凜	(麻布学園OLK)	落合 英那	(OLCルーパー)
第38回	2021. 4. 18	七国峠2021	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	完走者なし	
第39回	2022. 4. 17	七国峠2022	梶本 和	(県立千葉高校)	山本 美沙	(渋谷で走る会)
第40回	2023. 4. 16	七国峠2023	小林 透哉	(麻布高校)	石井 柚花	(OLP兵庫)
第41回	2024. 4. 21	七国峠2024	平田 海星	(県立浦和高校)	大野 知沙子	(ES関東C)
第42回	2025. 4. 20	七国峠2025	斎藤 颯	(県立浦和高校)	石井 百花	(OLP兵庫)
第43回	2026. 4. 19	七国峠2026	?		?	

長佐古杯について

オリエンティアとして非凡な才能を持ちながら1984年7月に22才の若さで他界した長佐古哲也君は、多摩OLが永遠の課題として持ち続けているジュニア育成の中から育った逸材でありました。第2回大会(1980)では実行委員長もつとめました。中学生で始めたOLは高校・大学と進むに従い着実にエリートランナーとして力をつけていました。しかし東京農工大在学中に発病し、8ヶ月余りの激しい闘病生活の末、ご両親・ご家族・友人・仲間など多くの人たちの願いもむなしく深い悲しみと多くの尽きせぬ思い出を残して突然去ってしまいました。

その訃報は多摩OL・東京農工大OL Cほかたくさんの仲間たちにとって信じられない事でした。哲也君は世田谷に生まれ、お父上の転勤について札幌、神戸と移り住み、世田谷用賀中・新宿高・東京農工大と進み、OLをこよなく愛しました。いつの時でも一生懸命生きた哲也君の鎮魂を願い、多摩OLジュニアチャンピオン大会に1991年の開催から長佐古杯を設けました。JMEとJWEに与えられるトロフィーは、長佐古家よりOL発展のためにとご寄贈いただいたものを基金として運用、その賞に充当しております。多摩OLでは不世出のエリートランナー哲也君に続くオリエンティアの育成を念じ、質の高い大会を提供してまいります。

競技に関する一般的な注意事項

比較的初級者の割合が高いイベントですので、あらためて注意喚起いたします。熟読をお願いします。

また、保護者の方、新入生指導にあたる上級生の皆さん、指導を宜しくお願いいたします。

●競技時間を超えての競技続行は認めておりません。

スタート後、本大会では150分を経過した場合、超過の可能性が高いと判断した場合は速やかにゴールに向かってください。これは参加者の義務です。

●一旦スタートしたら必ずフィニッシュおよび読取所を通過してください。

カードを読み取りませんと「行方不明者」扱いとなります。

カードを紛失した場合はフィニッシュおよび読取所でその旨を申告してください。無断帰宅は厳禁です。

●正しくE-カードをアクティベートしてください。

会場およびスタート地区(枠入り前)でカードのアクティベート(始動)を必ず行ってください。ユニットのランプが数回・一定間隔で点滅したことを必ず自分の目で確認し、不具合があったら役員に速やかに申告してください。

●正しくスタートしてください。

スタートでは係員の指示に従い、スタート10秒前にカードをユニットにセットし、スタートの合図と同時にユニットからカードを離してください。

●タイム計時機器の不具合の可能性について

大会に使用する全ての機器は前日までに複数回のチェックをしておりますが、経年劣化もあり、直前の不調・競技中の不調で完走したことが電氣的に確認できない事例が散見されます。(個人所有のカードでも不具合発生が散見されます)

自衛策として、バックアップラベルに打痕が確実に残るようパンチをしてください。電氣的にコントロールの通過が確認できない場合、バックアップラベルの打痕の有無で通過判定を行います。

●ラベルの脱落防止：ラベルを紛失すると打痕確認による救済ができませんので、競技中にラベルが脱落しないようラベルの端を小さく切ったビニールテープでとめるなどの対策を推奨します。ただし、補強が原因で打痕が確認できないと本末転倒ですので補強範囲には留意願います。

●正しくパンチしてください。

コントロールに到着したらユニット番号を確認の上、バックアップラベル面を下側にして、カードをユニットと平行になるまで埋め込んでください。正しくセットするとユニットの突起物によりラベルに打痕が残ります。カードが斜めの状態ではラベルに打痕が残りません。(それほど強く押し込む必要はありません、カードがユニットに**対し平行になるまで倒す**、を意識してください) ※ユニットの構造は会場でカード動作チェックを行う際に確認してください。

●カードを紛失しないために

カードを紛失した場合は失格となり、弁償金も発生します。心配な方はカードをゴム紐で手首に繋ぐなどの工夫をしてください。



●カード

表面
つるつとした面が表面です。

裏面
小さな穴がたくさんあいているのが裏面です

裏面にラベルをはめた状態



●バックアップラベル

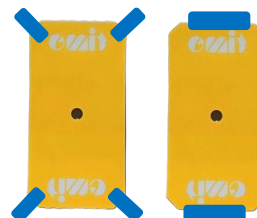
カードの裏面に挟み込みます。脱落しないように端をテープなどで止めると安心です。正しくユニットにセットすると1箇所につき1つの打痕（穴）が残ります。



打痕の例

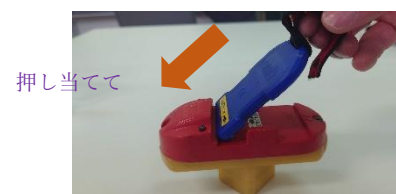
●ラベル補強（脱落防止）例

テープを小さく切ってラベルの端に貼り付けます。※両面テープで強く固定するのは避けてください。



●ユニットへのセット方法

カードがかすかにユニットに接触する程度でも通常は電氣的な記録が残りますが、機材不具合時の完走判定はバックアップ用のラベルで行いますのでラベルに打痕が残るようにカードをしっかりとセットしてください。



押し当てて



倒す！

●カードの裏面（ラベル側）を下側にして、②の部分ユニットの①の部分に斜めに押し当て、②を支点に③を下方向に押し下げます。

●番号確認をお忘れなく

地図の位置説明に表示されている番号と、ユニットに表示されている番号が一致していることを確認してからパンチしてください。

3	33				
4	34	↗	↘	Y	
5	37	↖		7	
6	38	●		○	
7	39	←	↗	↘	Y

5番コントロールに着いたらユニットの番号が37であることを確認してからパンチ（カードをユニットにセット）

OLG OKUMUSASHINO

(Orienteering Goods & Info)

<http://www.OL-SHOP.COM>

OLG奥武蔵野は多摩ジュニアチャンピオン大会を応援します。
それはオリエンティアとしての基本的な素養が形成される一番大事な年代だからです。
フィンランドではクラブの大ベテランの選手がマンツーマンの指導をし
16歳でエリートへの道がほぼ決まります。

日本の指導的オリエンティア集団多摩オリエンテリングクラブの大会を通して
世界に羽ばたくジュニア選手が出るのを願望して微力ですが応援させていただきます。

OLG OKUMUSASHINOは、またオリエンティアのニーズに応えるべく
世界中から新しいOL用品や情報を貪欲な好奇心を持って収集、皆さまに提供します。